



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

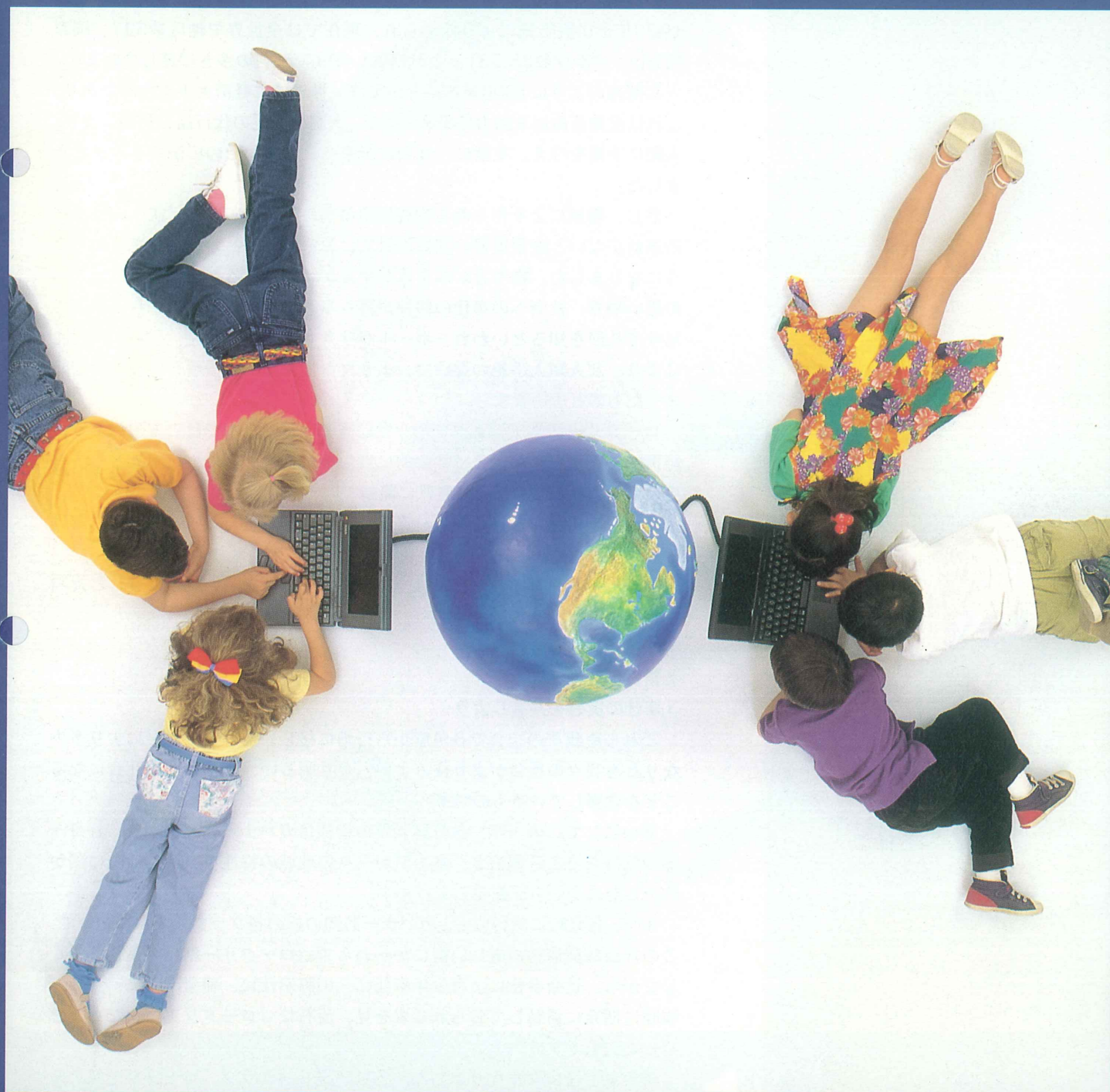
ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 1998-'99

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 内藤 明人

事務所 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-3-25 ホテルキャッスルプラザ1402号室

TEL052-581-2020 FAX052-581-1133



“お早よう!!お友だち” “やあ こんにちは!”
あいさつ どうもおかしいネもう一度試してみようー
“朝日がきれいだよー、見えるかい?” “うん夕日がとてもステキだよ!” 地球って魔術師みたいだね。

1999.5.20 No12

本誌は、環境にやさしい再生紙を使用しております。



ロータリー精神

1998～'99年度 国際ロータリー第2760地区

ガバナー 内藤 明人

ガバナーとしてのこの一年を振り返って見て、何を感じたかといえば「ロータリー精神」だと思います。

ポールハリス氏により、ロータリー運動が始まって95年(1905年設立)、この間この運動に共感するもの相集まり、米国はもとより、日本には1920年米山梅吉氏により始められ、現在では全世界で地区数527、国家数159、クラブ数28,531、会員総数1,193,376名の多きに達しています。

ご案内のように1900年初めといえば、世界的に経済大不況の時であり、これは産業革命以来動力の発明による、人間の手足の代行品の利用により、人間に幸福を与え、生活に、社会に国家へとしあわせの広がりをみせてきました。

然し、機械により作られる物質価値偏重は世に満ちたり、次への破壊技術革新がないと産業重視の国は不景気におそわれるという弱点を味わうようになりました。物や金がかたがた世がおとろえると自然に人間は人への思いやり、社会への奉仕の精神が落ちるものです。即ち昔から、物満ち足りて礼節を知るといわれ、ポールハリスも米国社会を見、「親睦と奉仕」により、友人知人手をつないで、より良き社会をつくらうという趣旨で始まったものと思います。

ロータリー活動が始まって約一世紀後の今日、日本ではご案内のように経済的に不振な年が続く、社会的に青少年から大人まで、日本人として有史以来稀にみる心の不毛の時代に陥っています。

これを正常化するには「ロータリー活動」が最適だと考えるのは私だけでないでしょう。

今年度のR I レイシー会長は「ロータリーの夢を追い続けよう」と提唱され、当2760地区はその夢を三つの目標に託しました。

- ①ユーズフルなことを
- ②新世代に光りを
- ③奉仕の実感を共有しよう

これらを我々の社会で各角度から行動に移し、提唱することにより多少なりとも我々の社会がより住みよい、より明るい、より幸せな社会になることを念願しているものです。

幸いにしてこの一年、各分区代理の皆様はガバナーと文字通り、心身一体の気持ちでご活躍頂き、各IMが夫々の地域の特性を生かし活発に開かれたことに心から感謝申し上げます。

また、各RCにおいても、ガバナー訪問の折の各クラブの報告において、この社会経済情勢の厳しい折にかかわらず、ロータリー創始の精神を生かしながら、社会奉仕に、青少年奉仕に、国際奉仕に、職業奉仕に、クラブ親睦に活発に活動しておられる姿を見、流石に「ロータリアン」だなと感じた次第です。

本年度も後少なくなりました。各ロータリークラブ、ロータリー精神を生かし、更なる活躍をお祈りする次第です。

1999-2000年度 会長エレクト研修セミナー (PETS) 開催

次期地区副幹事 岡本 戡紘

日時／1999年3月30日（火）
場所／知立セントピアホテル

3月30日午前10時30分より知立セントピアホテルで1999-2000年度会長エレクト研修セミナーが開催されました。

当日は、第2760地区76クラブの会長エレクト、次年度幹事と次期地区役員が参集しました。本セミナーは緊張感のある中にも、和やかな雰囲気が時折見られ、約200名の参加者が熱心に情報の収集に務められました。

セミナーは、井田次期地区副幹事の司会で進められ、内藤ガバナーの挨拶、内藤次期地区幹事から特別出席者の紹介、野村ガバナーノミニの「新しい年度に向けて」、宮地次期地区研修リーダーより「会長のリーダーシップについて」の説明と続き、12時に休憩に入りました。

午後は具体的な報告事項に入り、予算案、計画書の作成、報告、提出書類の説明、公式訪問、地区協議会、RI会長賞・ガバナー賞について、ガバナー月信、GSE等々と地区及びクラブ運営についての報告が各担当者より行われました。



内藤ガバナーからは、「7月の就任以来9ヶ月を経て、ここまで大過なく任を果たせてくれたのは、会員のご協力の賜です。

残る3ヶ月も親睦と奉仕の両輪で、一生懸命やりたいと思っています。聞くところによると、次期会長ラビツア氏は「次年度は、内面を固めよ」とのことであり、堅実をうたっているが、外面はノミニーが着用しているブレザーとネクタイの如く、明るく、前向きに行こうとされている。皆様も是非、頑張ってください。」旨のご挨拶があった。

続いて、野村ガバナーノミニーからは、アナハイム国際協議会の充実した内容、次期会長ラビツア氏の紹介、次年度は「2000年」と云う区切りの年の強調、女性進出の様子、世界的に見られる会員の減少傾向への歯止めの必要性が語られた。

そして会長のテーマ、ロータリー2000活動は堅実、信望、持続、及び第2760地区テーマ「語り合おう、そ



して見つめ直そうロータリーのロマンを！」新しい世紀の礎を築くために、について説明された。

1. 地域活動の見直しを
2. 新世代に指針を
3. 環境保全に貢献を
4. クラブの拡大及び増強

に続き各奉仕分野について、取り組むべき課題をきめ細かく説明された。

このあとの宮地次期研修リーダーから、「ニューリーダーシッププランは、日本の中でも当地区はスムーズに行っている。以前の研修でリーダーは、

L=聞くこと、E=エネルギーに、A=野心をもって、D=ドラマチックに、E=楽しんで、R=関係を大切に、と教えられた。クラブ運営は、絶望せず、命令せず、差別せず、批判せず、個性を尊重し、思いやりある奉仕の精神でやりましょう。幹事まかせ、事務局まかせでなく、自ら取り組み、会長賞に挑戦しましょう」とアドバイスがありました。

午後に行われた各々の報告については、非常にきめ細かく説明があり、地区便覧の確認も行われ、資料に基づく報告が行われました。

最後に内藤ガバナーから、「野村ガバナーノミニーの説明は全て網羅しており、次年度は間違いのないものと思う。」と激励の講評があり、会が締めくくられた。参加された会長エレクト、

次期幹事の方々は、長時間に亘るセミナーの疲れもみせず、次年度の決意を胸に帰途に着かれました。



国際ロータリー第2760地区 第7回ロータリー青少年指導者養成セミナー RYLA＝セミナー趣旨「今、子供達が危ない」 ……乳児から中学生までの躰と教育……



日時／1999年3月13日（土）～14日（日）
場所／愛知県美浜少年自然の家

地区ライラ(小)委員会委員長 林 正彦
ホストクラブ 尾西ロータリークラブ
実行委員長 都倉 吾一

ロータリーが4大奉仕活動のうち、青少年活動プログラムのウェートが一番重視されていると思えるのは、一昨年からはまった新世代会議の提唱により各クラブでは、地域社会においてロータリアンと青少年（中学生・高校生・若い社会人）との交流の間にさまざまな活動が展開され、成果が報告されていることで理解できます。



◀ 開会式内藤ガバナールあいさつ

ライラセミナーも回を重ねるごとに、参加者の増大と共に受講生の質の向上が著しく、本当に内容の有るセミナーに成長して来ました。

今回第7回のライラセミナーは、基本的な考え方として今、現実には起きている青少年が引き起こす事件（神戸ナイフ事件、薬物の問題、いじめ、学級崩壊）などに注目してこれらの奥に潜む原因となる要素の解明を受講生達の現体験から討論を重ね、次の世代へ、これから父となり母となる同世代への提言としてまとめてもらおうとテーマを考え、分科会を構成しました。

大テーマは「今、子供達が危ない」乳児から中学生に至る人間形成の上で最も重要な時期の愛情・

躰・家庭教育・幼児教育・学校教育のあり方をテーマに掲げ、分科会のテーマはこれらの中から5つ選び、1つのテーマに2つの分科会が論じて、討論発表は同じテーマでどのように討論発表の差異があるかも興味あることと考えました。

分科会のテーマは、①②が乳児期の親の愛情問題で「幼児虐待」、③④が幼児期から小学校低学年の躰の問題で「子供の躰」、⑤⑥は今や幼稚園から発生しているいじめ問題で「いじめ」、⑦⑧は小学校低学年からある学級崩壊から、生徒から先生へ、先生から生徒への校内暴力を問題にした「校内暴力」、⑨⑩は今や高校生中心が中学生へまで低年齢化したシンナーなどからの薬物を問題にした「薬物乱用」と5つのテーマで10の分科会を構成し展開をしました。



◀ 真剣な討論 分科会のようす

以上の難しい構成と1泊2日の設営と、クラブから90 kmも離れた所での展開という難題にホストの尾西ロータリークラブの皆さんは63名の会員の内、現地での実働51名。正に1人が何役もこなし、当日は早朝6時40分出発に耐え一致協力の結果、少人数のクラブでもこの大事業が実行可能であることを実践していただきました。本当に感謝の一言。

第7回ライラセミナーは、R I 第2760地区内藤明人ガバナー主催の下に、風光明媚な南知多の愛知県美浜少年自然の家で、3月13日（土）～14日（日）地区内各クラブから派遣された受講生148名、米山奨学生8名、ロータリアン195名、総計351名の参加の下、3月中旬ではめずらしく暖かな中、2日間に亘り開催されました。

登録を終えた受講生は、リーダー・アドバイザーが待ち受ける分科会室へ入り、机の上に置く名前台の作成から始まり、付添の会員からとは完全別行動の始まりです。分科会単位で全員揃ったら、食堂で昼食、ボリュームたっぷりの昼食と自己紹介。オリエンテーションの場とともに場の雰囲気にも馴染ませる効果も考えました。

13時定刻に開講式が始まり、内藤ガバナー・坂本地区青少年活動委員長をはじめ地区役員が出席し、内藤ガバナーの点鐘で開会しました。都倉吾一実行委員長の開会挨拶に続き、内藤ガバナーから「……ライラの目的は、地域の未来を担う若い人達に、私もロータリーが持つ理想と奉仕活動をよく理解していただき、今後の姿を共に議論すること……」との挨拶があり、新世代の活躍が熱望されました。

開講式に続く基調講演は、現豊川高校の校長である平井眞一氏を迎え「今、子供達が危ない」乳児から中学生に至る教育の問題を、90分に亘りご熱弁を頂きました。今、子供達が危ないで

はなく、廻りの大人達が本当は一番危ないのではないかと、今の大人達を見て受講生達にこれからの自分のあるべき姿を考えようではないか、というお話しに一同はとっても良く解り感動した。（後日談）



▲メインテーマ「今、子供達が危ない」平井先生の講演

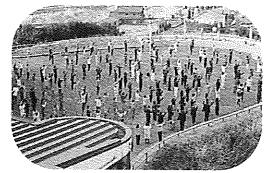
分科会については、セミナーの申し込みを受け、受講生の分科会配属のお知らせの中に「このテーマについてあなたの意見を5～6分にまとめて、作文かメモで当日持って来て下さい。」と送り、分科会開始はこれの発表から始まりました。全員の発表の中から中心になると思われる内容について討論し、分科

会の結論として翌日の「討論結果発表会」に出すという作業手順で行われました。

リーダーの役割はあくまでコーディネーターに徹し、自分の意見は控え、座長もできれば、受講生の中から選んで任せる。またアドバイザーも同じく進行上の時計係の役割で聞き役に廻る——このような役割の下、順調に進み18：30からの2回目の分科会はほとんど受講生達の自主運営で進んでいたようです。

分科会の中では討論が進み過ぎ、2回で4時間では結論が出ず、入浴後も消灯時間後も深夜にまで及び、リーダーが熱意に根負けするという分科会もありました。

翌朝のラジオ体操は、伊勢湾を行き交う船が一望できる屋外に出て、国旗等を掲揚して志気を高め、朝食後各自感想文の作成に取りかかりました。全員の文集を作る予定です。



▲暖かくさわやかな朝の集いラジオ体操

分科会別討論結果発表会は9：30に始まり、90分の予定が内容の充実がよくて15分も延びてしまいましたが、本当に良くまとめて同一のテーマでもまったく



▲各分科会の討論結果発表

異なる視点からの討論で、内容が良く聞き手を感動させてくれました。発表弁士を激励するエールも良く考

えられたものばかりでとても楽しかった。

閉講式は池田分区代理と坂本委員長の講評に始まり、野々部尚昭受講生代表の挨拶の中に、受講生のセミナーに置ける感動と勉強したことを生かそうという決意の表明に全員が感銘したようです。

結びに、ホストクラブもロータリアンも受講生も、参加者全員が感銘を受けられて心より……感謝。

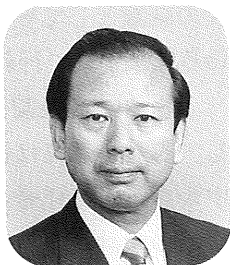


▲分科会と同時開催の青少年活動委員長会議

第2回地区青少年活動 委員長会議報告

日時／1999年3月13日（土）

場所／愛知県美浜少年自然の家



地区青少年活動委員会委員長 坂本 康信

去る3月13日（土）愛知県美浜少年自然の家に於て、第2回地区青少年活動委員長会議が、内藤ガバナー・池田分区代理・鈴木地区副幹事・地区役員（青少年・IA・RA・RYLA）・8分区青少年活動委員長等82名の出席を得て盛大に開催されました。



第2回地区青少年活動委員長会議
で挨拶される内藤ガバナー

石田青少年活動副委員長の司会により進められ、まず鶴田青少年活動副委員長による参加者の紹介後、内藤明人ガバナーのメッセージ、続いて新世代会議の報告「勤労体験学習」半田RC小栗孝久委員長、「おもいよりの心」瀬戸RC加藤琢也委員長、「家庭教育と躰」名古屋西南RC藤田守彦委員長、「子供にふさわしい教育環境」名古屋北RC青山啓副委員長、「韓国女子留学生との交流」豊橋東RC木村法生委員長、「家庭教育」岡崎南RC中嶋昭史委員長、「中学生と言いたい放題座談会」西尾KIRARA RC宮地美德委員長等がなされ、シェアされました。



▲新世代会議
「家庭教育と躰」報告
の西南RC藤田委員長

更に坂本地区青少年活動委員長・荻本IA委員長・石川RA委員長・林RYLA委員長等の報告後、内藤ガバナーより「各RCの青少年活動は、新世代に大いなる光を照らそうのガバナー方針に則って素晴らしい活動を展開しておられ敬意と感謝を申し上げます」と講評、最後に池田憲司分区代理による感謝の挨拶がなされ、成果をもって終了しました。



▲新世代会議「勤労体験学習」
報告の半田RC小栗委員長

第2回地区国際奉仕 委員長会議報告

地区国際奉仕委員会委員長
木本 精之助



日時／1999年4月7日（水）

場所／ホテルキャスルプラザ孔雀の間

出席／地区内76クラブの国際奉仕委員長
及び地区関係役員97名

年度も下期の半ばを過ぎているので協議の中心は、今年度の国際奉仕活動の実施状況が詳しく報告され、質疑や意見が交わされて理解を深めることが出来た。

神田憲青少年交換(小)委員長、岡田邦弘世界社会奉仕(小)委員長の活動状況報告は、いずれも克明に準備された資料により今年度の活動の全体を紹介し、特色を印象づけるものであった。

青少年交換については、長年続いた英語圏の国々との交換に加えて、ブラジル・フィンランド・タイ・台湾・更にフランスとの交換が拡がりを見せていることが報告され、このプログラムへの新しい参加が強く期待された。

世界社会奉仕活動に関しては、タイ・フィリピンへの愛知奨学基金の他、インド・ブラジルへの仮設住宅支援、パプアニューギニア・バングラデシュ・北部中国への災害支援等、地球上に起こった大災害にも適時に対応し、WCS活動の新しい展開を示し、寄付金総額は3,300万円を越える額となった。



香港・マニラ WCS伝達式報告



地区世界社会奉仕(小)委員会委員長 岡田 邦弘

今年度WCS活動の一環として2月21日～24日の4日間、岩間地区幹事・岡田委員長及び大平副委員長の3名が、香港3450地区・マニラ3800地区及び3810地区の3地区を訪問し、WCS活動資金の伝達と活動状況の確認を行いました。

1. 香港 3450地区 2月22日（月）10時～12時

ところ 日航香港ホテル会議室

ガバナー Anthony J. Hung

地区幹事 PP. Stanley Mok 他 地区役員3名

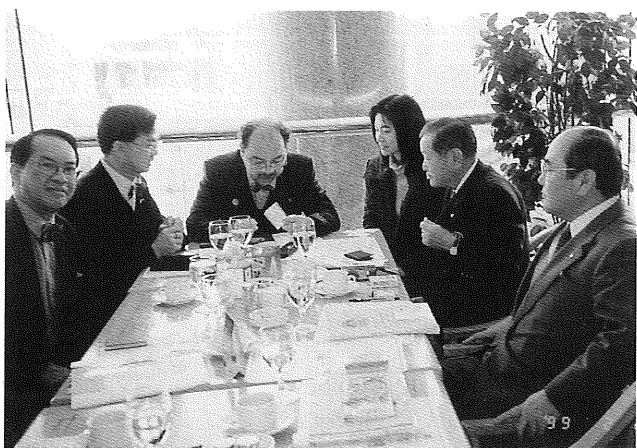
'98年9月Asiaコーディネーター Raymod氏より、日本第3ゾーンコーディネーター空地啓一氏を通じて、北部中国の洪水災害救助委員会が組織され、被災者の為仮設住宅建設資金の援助者を求める手紙が内藤ガバナーの元に届きました。

当委員会では、人道的立場からWCS活動の一環として、各クラブよりの資金を援助しました。

Anthony J. Hungガバナーより災害援助活動の計画書の説明をうけました。それによると当初当地区からの援助資金は仮設住宅建設に使用予定であったが、¥2,447,000と多額の援助なので、ダム崩壊により、最も被害の大きかった地域の学校建設資材購入資金に当てたい旨の要請があり、地区幹事の了解を得て了承しました。



▲H11.2.22 香港
3450地区ガバナー他 地区役員と記念撮影
於 日航香港ホテル



▲H11.2.22 香港
3450地区ガバナーより北部中国洪水災害復興プロジェクト計画の説明を受ける。
於 日航香港ホテル

北部中国洪水災害復興プロジェクト計画

救助委員会 RI第3450地区、救世軍香港総部

災害救助地 中国江西省九江市地区被災地

学校校舎建設 1校（RI第2760地区）

仮設住宅建設 109戸（RI他地区）

事業着工日 1999年1月1日

完成日 1999年5月15日 予定

造成地丘陵面にロータリーマークを設置する。

造成地入口にロータリーアーチを設置する。

再建学校名に「愛知」を入れる予定である。

学校竣工式には是非内藤ガバナーに出席して頂き、テープカットをお願いしたいとの事でした。

2.マニラ 第3810地区 2月23日（火）10時～12時
ガバナー Antonio B. Co

地区奨学基金委員長 Eduardo N. Chua 他5名

3.マニラ 第3800地区 2月24日（水）10時～12時
ガバナーノミニー Ericson M. Marquez

地区奨学基金委員長 Daniel T. Yu 他3名



▲H11.2.23 マニラ
3810地区ガバナーと会議 岩間地区幹事挨拶
於 マニラダイヤモンドホテル

両地区別々にマニラダイヤモンドホテル会議室にて、会議を行った。

岩間地区幹事が、内藤ガバナーのメッセージを各ガバナー・ノミニーに伝達し、今年度当地区のWCS活動方針を説明し、愛知奨学基金として両地区に各¥2,000,000の送金証明書を伝達。

各ガバナーより感謝の挨拶と受領書伝達があり、その後両奨学基金委員長より現状報告を受けた。

この愛知奨学基金は、過去6年間継続されているもので、現在迄¥12,000,000基金として積み立てられ、その利子で成績が良くてもお金が無くて大学へ進学出来ない子供を援助しています。



▲H11.2.23 マニラ
3810地区ガバナー他 地区役員と記念撮影
於 マニラダイヤモンドホテル

また、この基金は地区パストガバナーを委員に構成された愛知奨学基金委員会にて管理、運営がなされており、財務担当者3名のサインが無ければ預金等が引き出せない様になっています。

また、奨学生選考にあたって、地区内各RCから推薦された学生を委員会で厳正に審査し適正に選考されています。



▲H11.2.24 マニラ
3800地区ガバナーノミニーと会議 愛知奨学基金の報告を受ける
於 マニラダイヤモンドホテル

銀行預金残高、財務関係帳簿及び現況報告書を細かにチェックした結果、両地区とも適正に運営されていることを確認いたしました。

最後にこの愛知奨学基金により多くの学生が大学で学び、卒業して国家社会に貢献している事を確認し、ロータリー世界社会奉仕活動の必要性を痛感致しました。

当地区内RC会員各位のご協力に感謝し、今後のご理解・ご協力をお願い申し上げます。



▲H11.2.24 マニラ
3800地区ガバナーノミニー他 地区役員と記念撮影
於 マニラダイヤモンドホテル

「岡崎城南RC10周年 記念式典報告」

日時／1999年3月16日（火）

場所／岡崎ニューグランドホテル

岡崎城南ロータリークラブ実行幹事 加藤 順弘

平成元年に岡崎市内4番目のクラブとして産声をあげた我がクラブも、早いもので創立10周年を迎えることが出来ました。これもひとえにスポンサークラブの岡崎南RCを始め、2760地区全てのクラブの皆様の御指導の賜物と衷心より感謝申し上げる次第です。

3月16日に通常例会場のホテルにて式典・祝宴を挙行致しました。お忙しい中、内藤ガバナー・高澤バストガバナー・岩間地区幹事を始め中三河分区の会長・幹事様に御出席を賜り、式典は厳粛に祝宴は



なごやかに滞りなく取り行う事が出来ました。式典ではガバナーより有意義なお言葉を戴き会員一同感激を致した次第です。



又姉妹クラブの会津若松城南RCからは17名の御出席を戴き式典に華を添えていただきました。

記念事業として岡崎市に在る社会福祉法人米山寮が計画している「せきれいの郷」建設資金の募金街制作費及びPC導入資金の寄付、ロータリー財団寄付と米山記念奨学会寄付を行い併せてクラブバナーを改新いたしました。



た。全てに会員全員の心が1つになって作り上げた素晴らしい式典となりました。

「岡崎南RC創立 35周年記念式典報告」

日時／1999年4月2日（金）

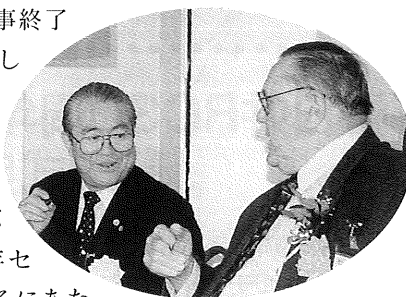
場所／名鉄岡崎ホテル

岡崎南ロータリークラブ幹事 渡辺 要市



陽春を感じる4月2日（金）岡崎南RCは創立35周年を迎え、名鉄岡崎ホテルにて午後2時より開催いたしました。当日は大変お忙しい中、中根岡崎市長・伊藤国立共同研究機構長・村野中三河分区代理・岩間地区幹事をはじめ分区内各ロータリアン、日頃お世話になっている各界・各層の方々をお招きし、和やかな雰囲気の中盛大

に式典・祝宴を無事終了することができました。特に今回は、創立20周年に姉妹都市提携をしたニューポートバルボアRCとの15周年セレモニーを開催するにあたり、



り、ニューポートビーチ市よりロータリアンも含め27名が来岡され、さながら国際交流に花の咲いた35周年となりました。今回、35周年を開催するための会長方針として、クラブ内メンバーの手づくりで、メンバーの絆をより高め、和やかな雰囲気の中、ロータリアン家族を含め全員のためのお祝いをする場にしたいとの合言葉のもと、実行委員会を組織してたったの半年間、各メンバーがそれぞれに頑張っていたいただいたおかげと感謝申し上げます。また記念誌の発行、中学生のための国研セミナーの開催、記念ゴルフ大会が残っていますので最後まで頑張っていきたいと思います。



「岩倉RC創立20周年 記念式典報告」

日時／1999年4月3日（土）

場所／小牧ロイヤルホテル

岩倉RC20周年実行委員会広報委員長 小川 清夫

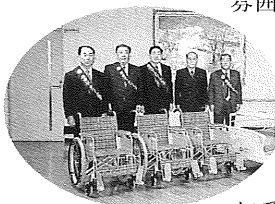


岩倉市の中央を流れる五条川の桜が満開の1999年4月3日、小牧ロイヤルホテルで創立20周年記念式典を開催しました。岩倉RCは1979年4月18日に江南RCをスポンサーとして会員25名で発足しました。（現在会員数40名）

式典には内藤ガバナー・飯田東尾張分区代理・岩間地区幹事・富永江南RC会長をはじめとする近隣RC、遠くは提携クラブの台湾北斗RC・長野県佐久RC、またロータリー関係以外からは石黒岩倉市長はじめ各界の代表者の方々の出席をいただきました。



第一部の記念式典では、黙想・物故会員の黙祷に続いて記念事業の発表、並びに歴代会長に感謝状贈呈を行いました。第二部の記念祝宴では、邦楽演奏の後和やかな



雰囲気の中で、20年を振り返り創立当時の思い出話に花が咲くとともに、より一層友情を深める楽しい一時を過ごしました。友好ソング“星影のワルツ”ロータリーソング“手に手つないで”を共に歌い閉会となりました。

〔創立20周年記念事業〕

- * 岩倉市社会福祉協議会 ベット3台・車椅子15台寄贈
- * 日本ボーイスカウト岩倉第1団 テント寄贈
- * ガールスカウト愛知県107団 トランシーバー寄贈
- * 米山記念奨学会 70万円寄付
- * ロータリー財団 7,000ドル寄付
- * 米山梅吉記念館 100万円寄付

「春日井RC30周年 記念式典報告」

日時／1999年4月4日（日）午後4時30分

場所／ホテルナゴヤキャッスル

春日井ロータリークラブ幹事 梅田 英夫



桜満開のなか、総勢172名の出席者のもと30周年記念式典が開催されました。増田浩基実行委員長・加藤茂会長の挨拶の後、10項目にわたる記念事業（文芸春秋講演

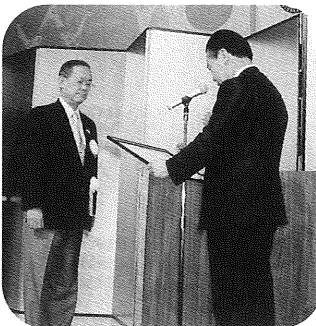
会、春日井市民病院新築祝品寄贈等々）が発表されました。記念事業の一つ

として、当クラブは現在大韓民国・南釜山RC、台湾・東港RCと姉妹クラブ提携をしておりますが、本年度よりカナ



ダ・ケローナRCと友好クラブ締

結をすることが決まり、当日式典の中で両クラブによる調印式が行なわれました。その後ご来賓の市長鶴飼一郎様、内藤明人ガバナー、姉妹クラブ会長様よりお祝辞を頂き、会員一同40周年へ向け、新たな決意の中式典を終えました。



午後6時より懇親会に移り、飯田幸雄分区代理他のご挨拶のあと当クラブより警察官・消防職員・コロニー職員計9名に感謝状が贈呈されました。祝宴では大いに親睦と友情を深め、最後に「手に手つないで」の大合唱で閉会を迎えました。

「碧南RC創立40周年 記念式典報告」

日時／1999年4月8日（木）

場所／衣浦グランドホテル

碧南ロータリークラブ幹事 鈴木 敏弘



▲祝宴

平岩初代会長の基に、24名のチャーターメンバーの皆様方が職業を通して奉仕の理想を掲げて、碧南ロータリークラブが生まれて以来、40周年を迎える事が出来ました。国際ロータリー第2760地区内藤ガバナーを始め、

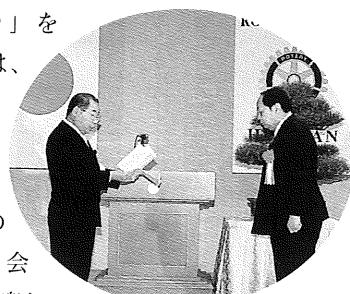
多数のご来賓のご出席の基に、去る4月8日衣浦グランドホテルにて記念式典を開催致しました。「創始から不惑へ」のビデオによる40年のあゆみを放映、式典に入りました。縦山会長の挨拶、小林実行委員長長の記念事業の披露。そして会長より永島碧南市長へ記念事業の贈呈が行われました。碧南ロータ



▲縦山会長挨拶

リークラブでは、5年毎に地域社会に対し記念事業の贈呈を行っています。この40周年も、新市庁舎玄関に当地方出身の彫刻家山本眞輔氏制作の「すばらしき日々」という彫刻を寄贈致しました。碧南市は

「彫刻のあるまちづくり」をめざしています。それは、ちょうど当地区に合った事業と思います。祝宴では余興のフラメンコとバイオリンとギターの演奏が行われ、ご来賓・会員そして会員夫人を交え楽しい宴の一時でありました。



▲縦山会長から永島碧南市長へ記念事業目録の贈呈

第2760地区ニュース・その他

第5回地区諮問委員会議事録

日時／1999年3月26日(金) 11:00～13:30

場所／ホテルキャッスルプラザ

<協議事項>

以下の議題全部につき配布資料記載の原案のとおり確認された。

1. 1999～2000年度 地区役員及び委員会委員(案) 一部変更について
2. 1999～2000年度 会長エレクト研修セミナー(PETS) について
3. 1999～2000年度 地区協議会開催要綱(案) について
4. 1999～2000年度 地区ガバナー公式訪問日程(案) 一部変更について
5. 分区分名変更について
中三河分区分を西三河中分区分とする(次年度より)
6. その他
・アジア会長主催会議について

<報告事項>

以下の議題全部につき配布資料のとおり報告された。

1. 国際協議会出席報告
2. 1998～'99年度 各分区分IM開催について
3. 米山奨学生選考結果について
4. W C S 視察旅行・寄贈について
5. 1998～'99年度 ライラセミナー開催について
(別添資料による)
6. 地区主要行事日程について(3月～5月)
7. その他
・ 1998～'99年度 ジーン・ハリス賞受賞者について
・ ロータリー研究会の収支報告



特 別 寄 付 報 告 書

(1999年3月分)

第2760地区

財団法人 ロータリー米山記念奨学会理事長 末永 直行

クラブ名	クラブ扱入金額	個人扱入金額	法人扱入金額	合 計	件 数
一宮北	0	150,000	0	150,000	1件
岩倉	10,000	690,000	0	700,000	7件
春日井	300,000	30,000	0	330,000	2件
名古屋	0	0	60,000	60,000	2件
名古屋東山	0	1,380,000	700,000	2,080,000	38件
名古屋北	0	150,000	0	150,000	1件
名古屋栄	0	150,000	0	150,000	5件
名古屋昭和	450,000	0	0	450,000	1件
名古屋和合	0	420,000	0	420,000	14件
西尾	0	60,000	0	60,000	2件
岡崎	0	70,000	0	70,000	7件
岡崎東	14,646	30,000	0	44,646	2件
岡崎城南	300,000	50,000	0	350,000	2件
岡崎南	450,000	10,000	0	460,000	2件
豊橋北	4,000	0	0	4,000	1件
豊川	0	30,000	0	30,000	1件
豊田	0	630,000	0	630,000	21件
豊田西	0	330,000	0	330,000	10件
合 計	1,528,646	4,180,000	760,000	6,468,646	119件

西尾張ロータリークラブ 美術展報告

開催期間／1999年4月13日【火】～18日【日】

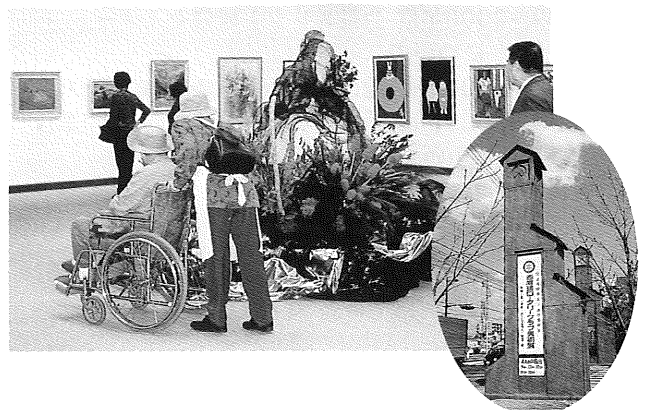
場 所／稲沢市荻須記念美術館

稲沢ロータリークラブ 遠藤 正昭

4月13日（火）より18日（日）まで第1回西尾張ロータリークラブ有志による美術展を稲沢市の荻須美術館にて開催し、54名が参加。絵画39点、写真26点、書6点、陶芸、七宝、その他多彩な作品計97点が展示され、田中西尾張分区代理・谷一宮市長等も出展して頂き盛会裡に終了した。9クラブのパナーも展示してロータリークラブの活動状況を説明させ

て頂く事が出来た。

丹羽那一次期ガバナー補佐（尾張中央RC）もご夫妻でお見えになり是非続けて欲しいと言って居られた。



西尾KIRARAロータリークラブ

“ホームページ開設”のお知らせ

西尾KIRARAロータリークラブ幹事 平岩 二郎

この度、当クラブ広報委員会では、会員手作りのホームページをインターネットに開設いたしました。JRIC（全国ロータリアンインターネット協議会）の確認では、全国で145番目、当地区では3番目の開設となります。

より多くの皆様に、ご覧頂きたくここにご案内申し上げます。そして、当クラブを知って頂き、Eメールにてご意見・ご感想など頂ければ幸いに存じます。

【ホームページ】 <http://www.japan-net.ne.jp/~kirara-1>
（検索エンジンYahoo登録済み キーワードは「西尾KIRARA」「西尾」「ロータリー」など）
 【Eメール】 kirara-1@japan-net.ne.jp

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

米田 達也様	（西春日井RC）	4月10日
加藤甚市郎様	（瀬戸北RC）	4月17日
三浦 博様	（刈谷RC）	4月18日
長坂 忠範様	（東知多RC）	4月25日
山口 光俊様	（高浜RC）	4月28日
伊藤 喜久様	（犬山RC）	4月30日

新ポール・ハリス・フェロー2月分

氏 名	所属RC	氏 名	所属RC
日高 晋典（常 滑）		小笠原 喜好（新 城）	
神原 孝也（常 滑）		鈴木 莞之（新 城）	
川口 新平（半 田）		続木 征（新 城）	
前田 佳男（半 田）		早川 奎（新 城）	
竹内 稔幸（半 田）		星野 順一郎（新 城）	
中井 愛（半 田 南）		宮本 俊雄（新 城）	
近藤 敏通（半 田 南）		中田 博之（豊 橋 東）	
石川 信行（半 田 南）		竹内 義将（知 多）	
間瀬 弘（半 田 南）		村上 茂登（知 多）	
榊原 安宏（半 田 南）		坂本 宏允（名古屋名東）	
安藤 良（名古屋名南）		森下 幹人（名古屋栄）	
戸田 一利（名古屋名南）		高橋 靖裕（名古屋栄）	
盛田 宏（名古屋）		梅村 東（豊橋ゴールデン）	
村井 誠一（一 色）		又平 雅之（豊橋ゴールデン）	
藤井 真琴（一 色）		縣 保彦（豊 橋 南）	

文庫通信 139 号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、1万8千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

新ロータリー年度を迎えるための資料

- ◎「二針三針の奉仕」佐古 亮尊 友：1996・10月 1頁 [申込先 ロータリー文庫（コピー）]
- ◎「クラブの管理運営とR1について」田中 毅 D.2680月信：1997・5月 8頁 [申込先 ロータリー文庫（コピー）]
- ◎「今日のロータリーを知ろう」秋山 一 1998 8頁 [申込先 ロータリー文庫（コピー）]
- ◎「ロータリー役員必携」石井 省三 1998 314頁 [申込先 石井 省三 TEL（0277）22-4188]
- ◎「楽しい例会のために アンケート「例会対策」報告書」D.2610 1998 9頁 [申込先 ロータリー文庫（コピー）]
- ◎「ロータリアンの特典と義務について 改訂版」麻植 晃 徳島南R.C. 1998 18頁
[申込先 徳島南R.C. TEL（0886）22-3113]
- ◎「ロータリーをふりかえって」新川 英明 東広島R.C. 1998 131頁
[申込先 東広島R.C. TEL（0824）20-0320]
- ◎「ミニロータリー史と手続き要覧をやさしく考える」市川シビックR.C. 1998 28頁
[申込先 ロータリー文庫（コピー）]
- ◎「ロータリーのこれからの進路」戸田 孝 D.2660月信：1998・12月 2頁 [申込先 ロータリー文庫（コピー）]

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL（03）3433-6456・FAX（03）3459-7506

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

会員数および出席報告

第2760地区

出席報告

平成11年3月分

分区	クラブ名	出席率	例会数	会 員 数		
				'98年 7月1日	当月	増減
南 尾 張	半田	99.16	4	71	71	0
	常滑	97.37	4	71	72	1
	東海	97.69	5	59	51	-8
	東知多	89.11	4	71	70	-1
	半田南	98.38	5	72	67	-5
	知多	99.43	4	41	44	3
	6RC	96.86		385	375	-10
西 尾 張	一宮	98.87	4	90	89	-1
	津島	99.45	4	90	89	-1
	尾西	98.81	4	61	63	2
	一宮北	94.58	4	79	79	0
	稲沢	94.55	5	69	68	-1
	あま	99.75	4	101	101	0
	西春日井	100	5	64	63	-1
	尾張中央	100	5	53	53	0
	一宮中央	94.40	5	73	75	2
	9RC	97.82		680	680	0
東 尾 張	瀬戸	100	5	86	85	-1
	犬山	100	5	85	90	5
	江南	100	4	74	74	0
	小牧	97.21	4	74	76	2
	春日井	100	4	79	82	3
	尾張旭	99.24	4	64	66	2
	名古屋空港	98.07	4	68	68	0
	瀬戸北	100	5	69	70	1
	岩倉	97.00	5	41	40	-1
	豊山-城北	98.13	5	55	46	-9
	10RC	98.97		695	697	2
西 名 古 屋	名古屋	95.00	5	217	230	13
	名古屋西	98.37	4	145	150	5
	名古屋南	99.17	5	131	130	-1
	名古屋港	100	4	124	123	-1
	名古屋東南	97.16	4	87	87	0
	名古屋中	99.62	4	163	163	0
	名古屋瑞穂	98.90	4	100	98	-2
	名古屋大須	97.04	4	96	96	0
	名古屋栄	99.70	4	81	84	3
	名古屋名駅	96.94	5	109	114	5
	名古屋名南	98.51	5	83	85	2
	名古屋西南	100	4	60	61	1
	12RC	98.37		1,396	1,421	25

分区	クラブ名	出席率	例会数	会 員 数		
				'98年 7月1日	当月	増減
東 名 古 屋	名古屋北	100	4	110	114	4
	名古屋東	97.41	4	110	109	-1
	名古屋守山	96.65	4	81	82	1
	名古屋和合	100	5	113	113	0
	名古屋名東	97.58	5	82	77	-5
	名古屋名北	99.68	5	74	74	0
	名古屋千種	98.50	5	70	70	0
	名古屋昭和	100	4	73	76	3
	名古屋錦	98.39	5	66	65	-1
	名古屋東山	100	4	56	60	4
東 三 河	10RC	98.82		835	840	5
	豊橋	98.18	4	126	128	2
	蒲郡	94.19	4	71	73	2
	豊橋北	99.22	5	115	113	-2
	豊川	95.22	5	77	81	4
	田原	100	4	71	73	2
	豊橋南	98.04	4	73	73	0
	新城	98.00	4	67	65	-2
	渥美	95.48	5	63	65	2
	奥三河	92.38	3	43	41	-2
	豊川宝販	96.56	5	66	68	2
	豊橋ゴールデン	99.38	4	82	80	-2
	田原・ミフィック	93.13	5	75	73	-2
中 三 河	豊橋東	100	5	43	45	2
	13RC	96.91		972	978	6
	岡崎	99.57	5	120	112	-8
	豊田	97.28	4	94	89	-5
	岡崎南	100	4	109	111	2
	豊田西	100	3	101	109	8
	岡崎東	99.16	4	99	104	5
	豊田東	99.06	5	99	98	-1
	岡崎城南	99.22	5	76	78	2
	豊田三好	99.22	4	35	35	0
西 三 河	8RC	99.19		733	736	3
	刈谷	100	4	92	98	6
	安城	94.80	4	94	93	-1
	西尾	96.63	5	76	77	1
	碧南	99.46	5	85	84	-1
	一色	99.52	4	51	52	1
	高浜	99.60	5	54	53	-1
	知立	100	5	62	64	2
	西尾KIRARA	99.64	4	72	71	-1
	8RC	98.71		586	592	6

地域内クラブ数 76RC

'98.7.1会員数 6,282名

増 加 会 員 数 105名

当月末会員数 6,319名

減 少 会 員 数 68名

当月平均出席率 98.21%

差引純増会員数 37名